

H30 シカ年度個体数調整事業計画及び進捗報告

1. 遺産地域内（環境省 釧路自然環境事務所）

(1) 知床岬地区（捕獲目標頭数 20 頭）

【現状・課題】

- ・2007 年度より密度操作実験・個体数調整を実施しています。
- ・植生に関しては、草原台地上のクマイザサの稈高や一部の指標種（嗜好種）において回復傾向が見られています。
- ・2018 年に実施した航空カウント調査によるエゾシカ発見密度は、12.5 頭/㎢でした。
（目標：5～10 頭/㎢以下→未達成）
- ・南側からのシカ流入が少ないと、厳冬期における大人数による捕獲の費用対効果が低くなるのが課題となっています。

【事業計画】

●期間：

- ・流氷期（くくりわな及び待ち伏せ狙撃・へり）：2月～3月に1回。
- ・残雪期・無雪期（待ち伏せ狙撃及び忍び猟・船）：4月下旬～5月に3～4回。

(2) ルサー相泊地区（捕獲目標頭数 75 頭）

【現状・課題】

- ・2012 年度より密度操作実験・個体数調整を実施しています。
- ・植生に関しては、下枝被度、ササ類の被度・高さに回復傾向が見られましたが、広葉樹稚樹の発生は見られませんでした。
- ・2018 年に実施した航空カウント調査によるエゾシカ発見密度は、1.94 頭/㎢でした。
（目標：5 頭/㎢以下→達成）
- ・低密度化に伴い捕獲効率が低下しており、また、相泊以北については物理的に捕獲が難しい点が課題となっています。

【事業計画】

① 囲いわな（相泊）

- 期間：ヒグマの出没状況を見つつ3月末まで捕獲を実施。

② くくりわな・小型箱わな（ルサー～相泊）

- 期間：1月～3月にくくりわな（ルサー～相泊）及び小型箱わな（ルサー・相泊）を設置し捕獲を実施。

③ 流し猟式シャープシューティング（ルサー～相泊）

- 期間：3月（12日以降の毎週火・金曜日）及び4月（21日までの毎週日曜日。）に実施。

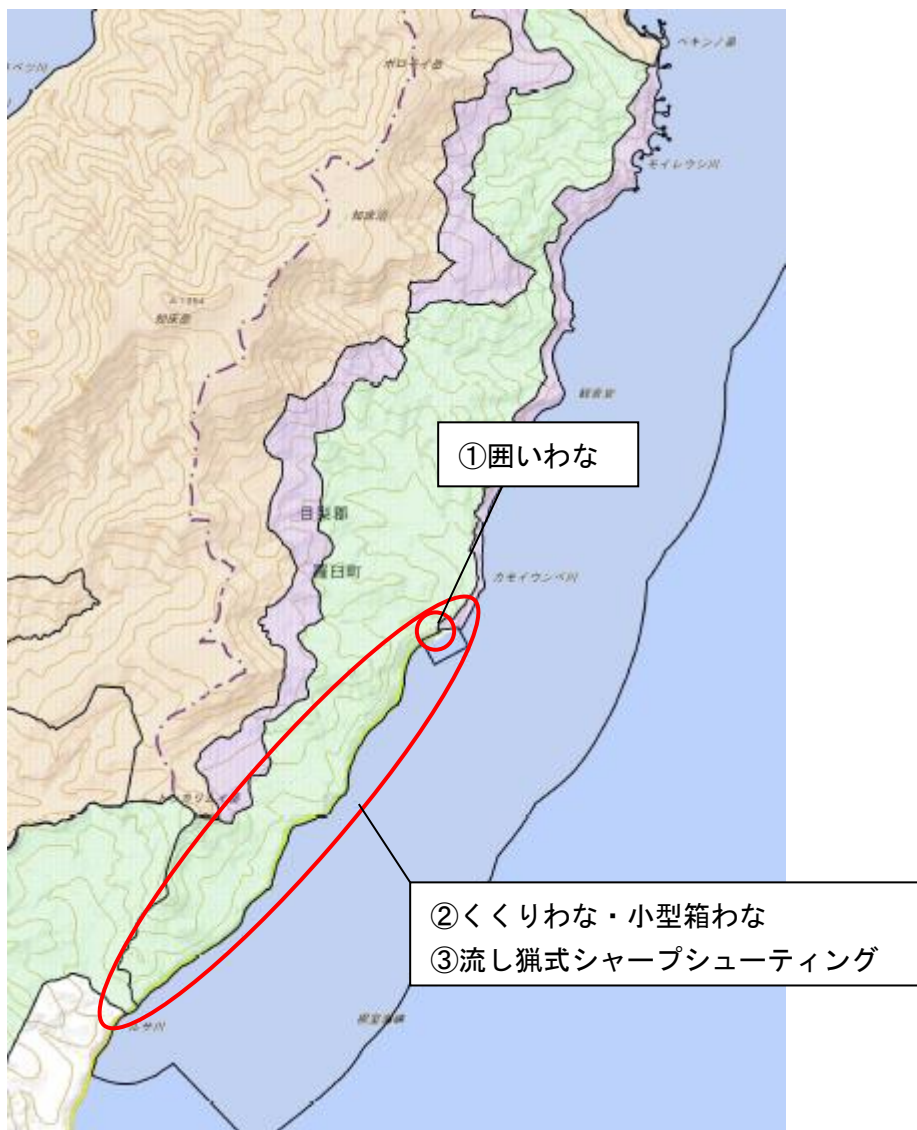


図1. ルサー相泊地区における H30 シカ年度エゾシカ捕獲事業実施予定地点

(3) 幌別ー岩尾別地区 (捕獲目標頭数 125 頭)

【現状・課題】

- ・2011 年度より密度操作実験・個体数調整を実施しています。
- ・植生に関しては、一部でマイヅルソウやエゾイラクサの回復を示す調査結果が得られました。
- ・2018 年に実施した航空カウント調査によるエゾシカ発見密度は、1.9 頭/㎢でした。
(目標：5 頭/㎢以下→達成)

【事業計画】

①仕切柵を用いた囲いわな式捕獲 (岩尾別台地上・既設)

●期間：1月下旬から3月まで捕獲を実施。

②くくりわな (岩尾別台地上、幌別川河口付近、プユニ岬付近)

●期間：1月～3月に捕獲を実施。

③小型箱わな（幌別川河口付近、プユニ岬付近、幌別森林1 ha 柵付近）

●期間：1月～3月に捕獲を実施。

④待ち伏せ式誘引狙撃（岩尾別ふ化場進入路付近）

●期間：1月下旬～3月に捕獲を実施。

⑤待ち伏せ式誘引狙撃（岩尾別台地上）

●期間：3月～4月中旬頃に捕獲を実施。

⑥流し猟式シャープシューティング（しれとこ 100 平方メートル運動地内）

●期間：5月～6月に捕獲を実施。

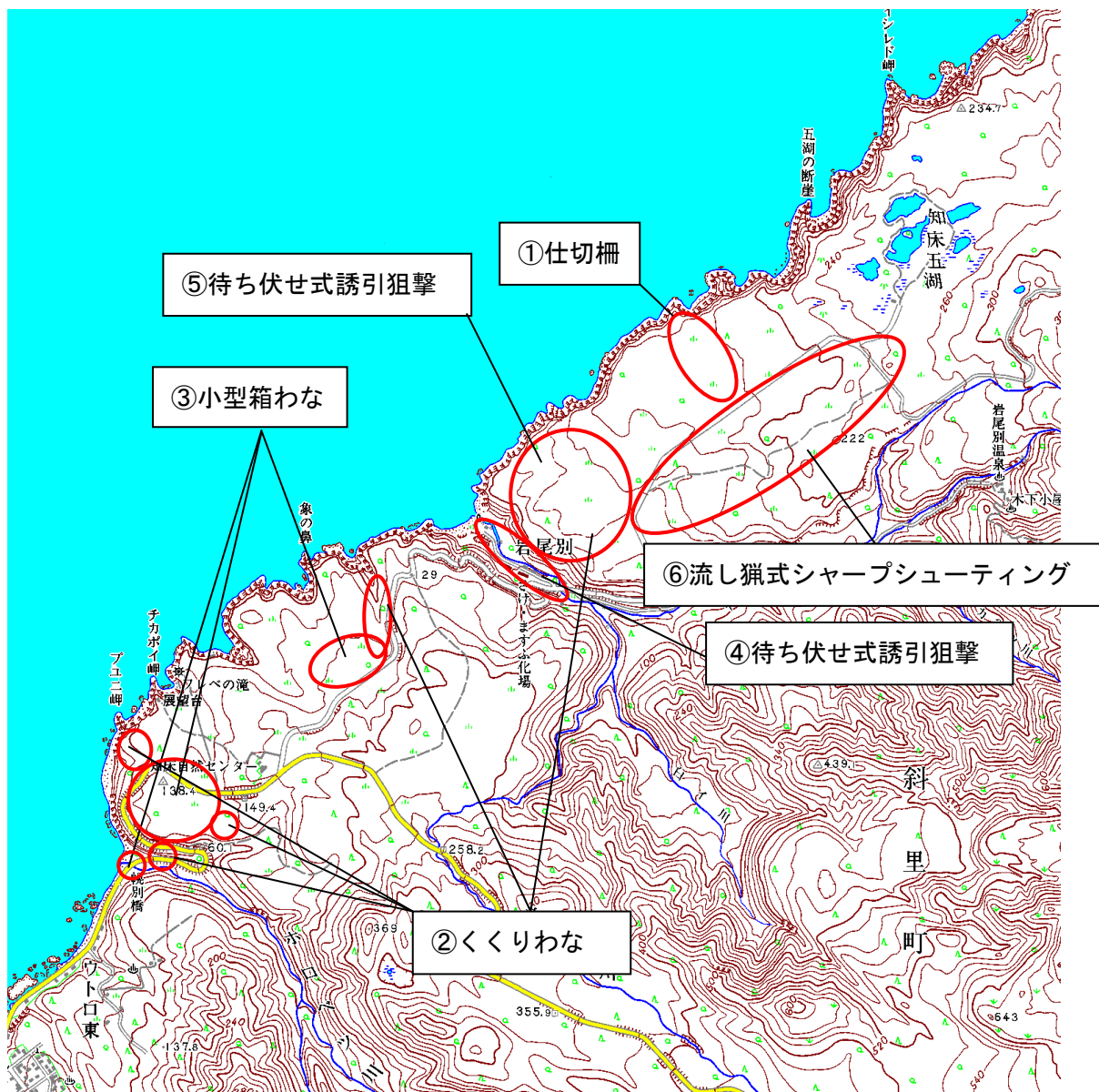


図2. 幌別一岩尾別地区における H30 シカ年度エゾシカ捕獲事業実施予定地点

2. 隣接地域（林野庁知床森林生態系保全センター）

【現状・課題】

- ・2013年度より個体数調整を実施しています。
- ・植生に関しては、斜里町ウトロ地区から真鯉地区、及び羅臼町南部の低標高域から海岸段丘において、シカ越冬地を中心に強い影響があります。
- ・2016年に実施しました航空カウント調査によるエゾシカ発見密度は、斜里町側で3.9頭/km²、羅臼町側で3.2頭/km²でした。
- ・今後シカ肉の持続的な利活用も視野に入れて個体数調整を行うことが課題となっています。

(1) 銃器による個体数調整

【事業計画】

誘引狙撃（ウトロ地区）

- 期間：2月中旬から3月上旬

(2) 銃器以外による個体数調整

【事業計画】

① 囲いわな（ウトロ地区4箇所、羅臼地区1箇所）

- 期間：12月上旬から3月中旬

② 箱わな（ウトロ地区1箇所、羅臼地区1箇所）

- 期間：12月中旬から3月中旬

③ くくりわな（ウトロ地区4箇所、羅臼地区1箇所）

- 期間：1月上旬から2月下旬

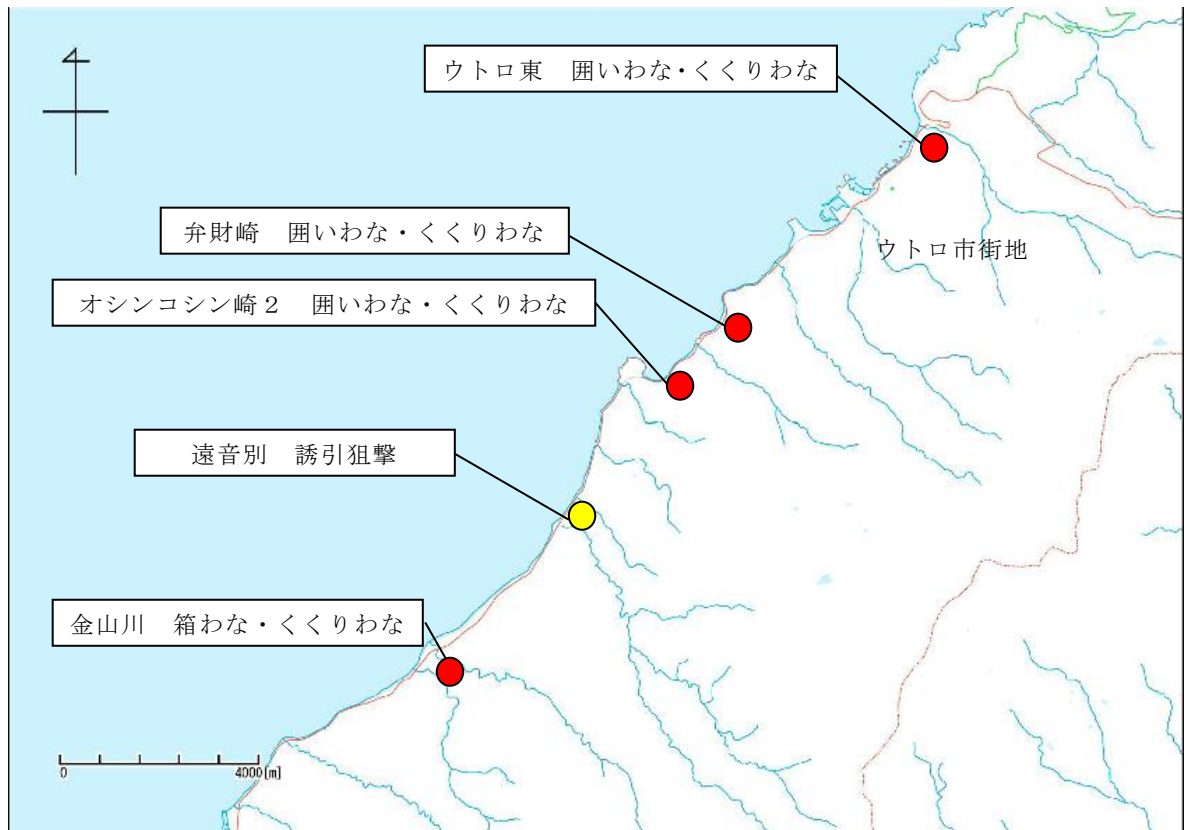


図3. 遺産隣接地域におけるH30シカ年度エゾシカ捕獲事業実施地点（ウトロ地区）

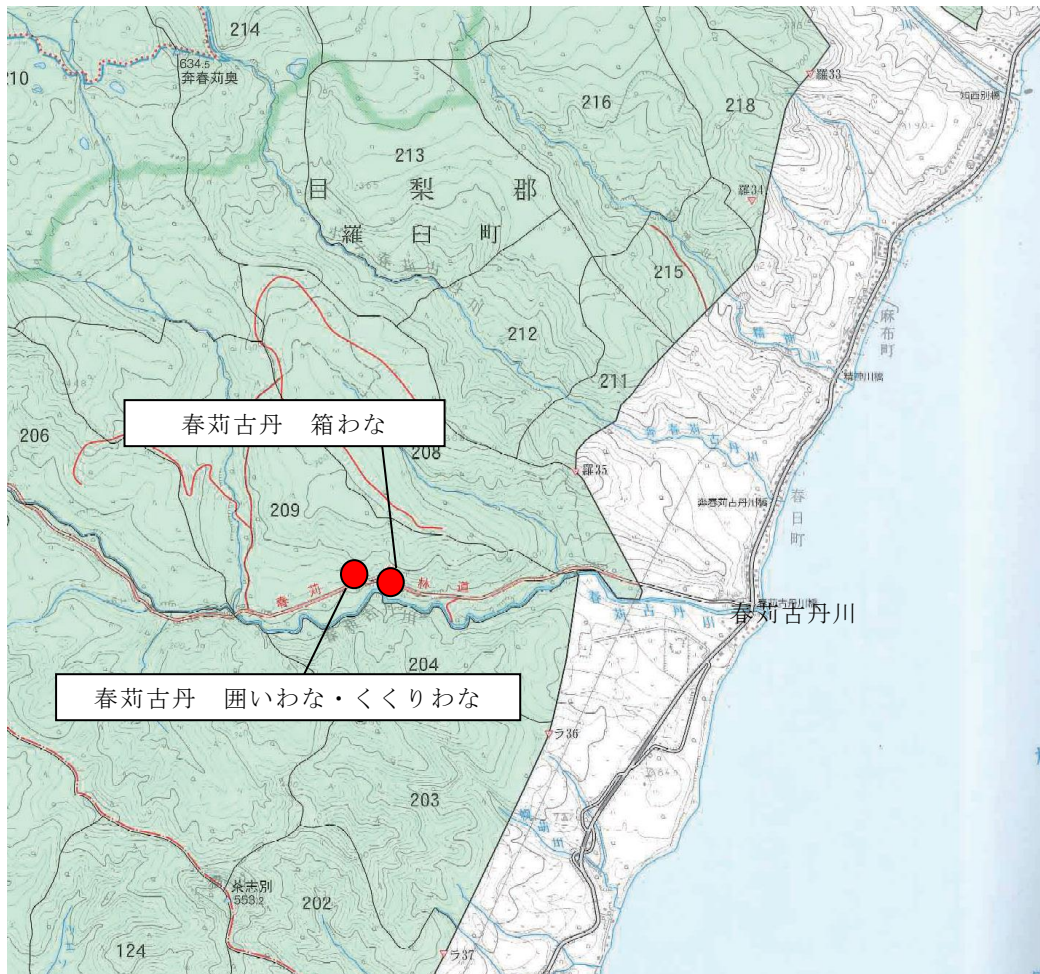


図4. 遺産隣接地域における H30 シカ年度エゾシカ捕獲事業実施地点（羅臼地区）

3. 隣接地域（北海道・斜里町・羅臼町）

（1）銃による個体数調整

- ・斜里町ではウトロ高原農地、半島基部農地で捕獲を実施しています。なお、ウトロ地区では箱わなによる捕獲を実施しているほか、H29 シカ年度 5 月には吹き矢による捕獲も実施しました。
- ・羅臼町では町有林における巻き狩りと流し猟を実施しています。

（2）狩猟

- ・斜里町の狩猟期間は 10 月 20 日から 2 月末までで、隣接地域において狩猟での効率的な捕獲を検討するため中断期間を設定しました。
- ・羅臼町の狩猟期間は 10 月 1 日から 1 月末までとなります。（北海道）

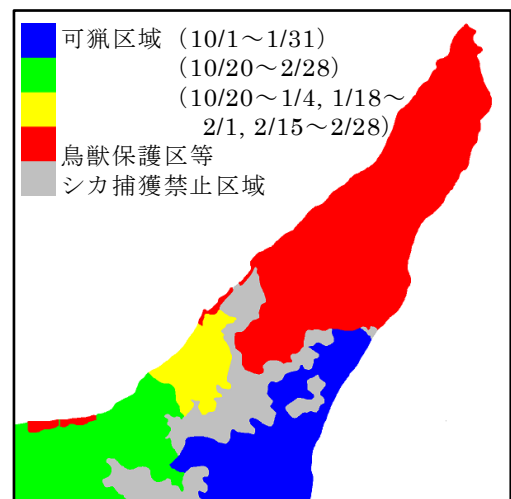


図5. エゾシカ可猟区域